

光が丘地区の公共施設再編に向けた 市民対話ワークショップ

第1回

「学校での思い出や、地域の魅力・課題の共有」

令和3年11月27日
陽光台公民館 大会議室

感染拡大防止へのご協力

- マスクの着用の徹底
- 会場内に用意している消毒液によるこまめな消毒



- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

本日のプログラム

本日のプログラム

| | |
|-------------------|--|
| 15 : 00 ~ 15 : 20 | あいさつ、自己紹介、ワークショップの目的 |
| 15 : 20 ~ 16 : 15 | グループワーク ~ 学校での思い出や、地域の魅力・課題の共有 ~ |
| 16 : 15 ~ 16 : 25 | 休憩 |
| 16 : 25 ~ 16 : 40 | 発表・意見交換 |
| 16 : 40 ~ 16 : 50 | 公共施設マネジメントの取組と 光が丘地区の現状など |
| 16 : 50 ~ 15 : 55 | まとめ |
| 16 : 55 ~ 17 : 00 | 次回の内容、事務連絡、アンケート記入 |

あいさつ、自己紹介

自己紹介

1. お名前

2. 所属（団体、ご職業、主な利用施設など）



目標 一人15秒以内

ワークショップの目的

光が丘地区の公共施設再編に向けた取組について

○ 光が丘地区の公共施設の状況



光が丘・陽光台・並木・青葉小学校

小・中学校の児童生徒数の減少に伴う学習環境のあり方の検討を行い、市教育委員会において、令和7年4月を目途に、青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校に再編するという対応方針が定められたところです。

閉校後の学校
跡地の活用



療育センター陽光園、陽光台保育園など子どもに関する地区内の公共施設の多くが築40年以上を経過しており、建て替えなどを検討する時期を迎えています。

取組の方向性

今後の小学校再編の進捗状況を踏まえながら、閉校が見込まれる青葉小学校の跡地（既存ストック）は『子どもや地域の活動の場や避難所』を基本とした利活用を図っていききたいと考えています。

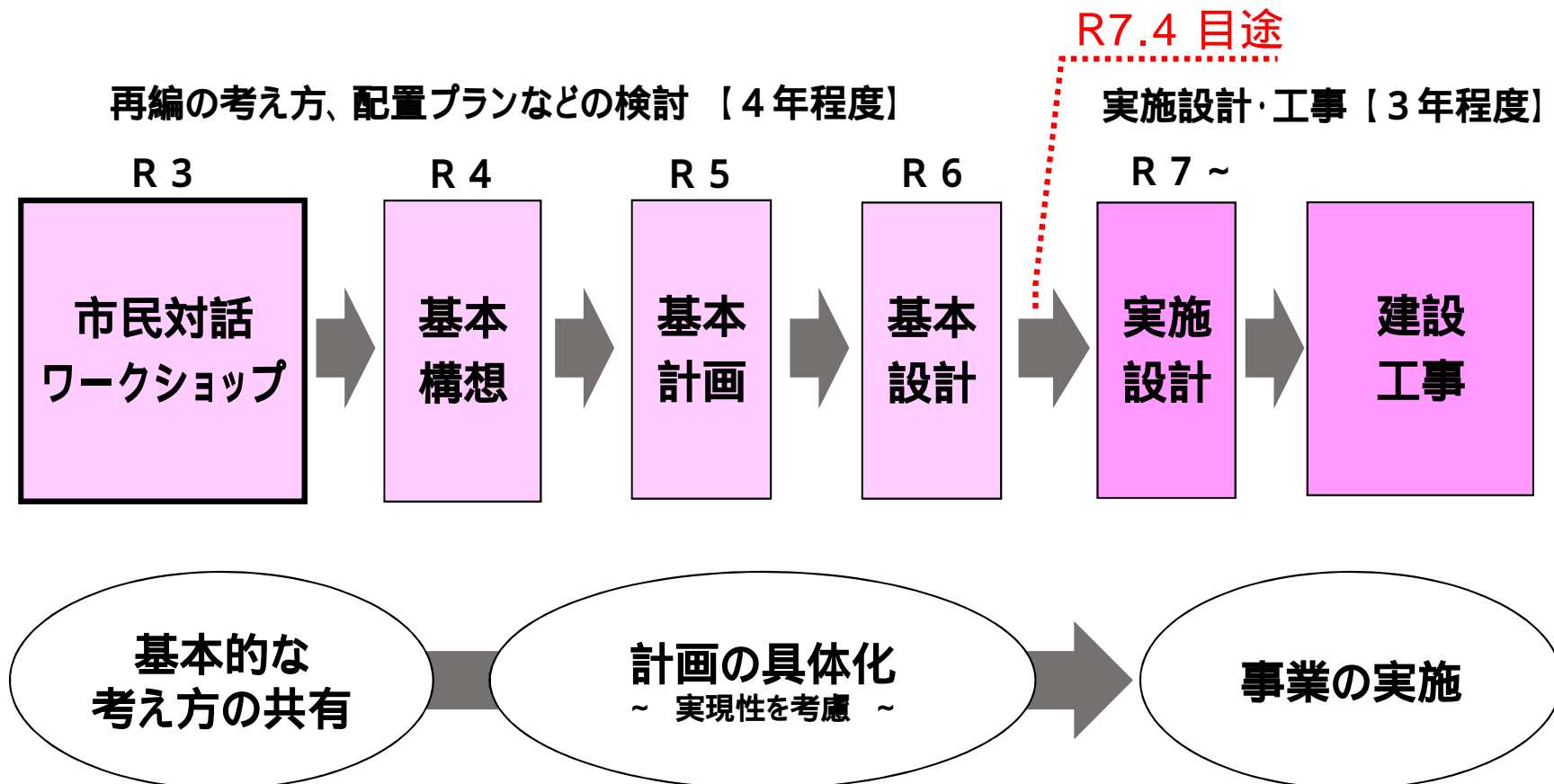
ワークショップの目的

ワークショップでは、今後策定を予定している跡地活用の構想につながる『跡地活用のコンセプト』、『具体的な活用方策』、『アイデア』などを検討・まとめていくことを目指します。



全体のロードマップ

- 令和3年度は、市民対話ワークショップを通じて、さまざまな視点からのアイデア等を出し合い、再編の基本的な考え方などを検討していただき、報告書にまとめることを目指します。
- その報告書を踏まえて、基本構想などを策定し、実現に向けた取組を進めていきます。
- 学校の再編の進捗状況を踏まえながら、令和7年4月から実施設計を行い、スムーズに施設の利活用が行えるように事業を実施していきます。



今後の検討状況等により、スケジュールは変更となる場合があります。

ワークショップ全体のスケジュール

| | |
|------------------------------------|---|
| | |
| 今回 第1回 (1月27日) | 学校での思い出や、地域の魅力・課題の共有 学校での思い出や地域活動を共有して、地域の魅力や課題を考えよう！ |
| 第2回 (1月19日) | 跡地活用のイメージ 施設を見て、既存ストックを使ってやりたいことなどを考えよう！ |
| 第3回 (1月中旬) | 再編コンセプトや跡地活用の具体化 やりたいことなどをカタチにして、再編コンセプトを考えよう！ |
| 第4回 (2月中旬) | 再編案のまとめ 実現に向けて、施設の使い方などをイメージして、再編案をまとめよう！ |

新型コロナウイルス感染症の状況等により、スケジュール・内容は変更となる場合があります。

ワークショップの参加者と運営体制

- 今回のワークショップでは、日頃よりまちづくりや地域活動に御尽力いただいている地域の代表、関連団体、施設利用団体からの推薦のほか、施設利用者、一般公募による様々な立場や世代の方、総勢 17 名に参加してもらっています。

参加者の構成 (17)

光が丘地区まちづくり会議委員 (4)

小学校 P T A 連絡協議会 (4)

光が丘公民館運営協議会 (2)

子ども会育成連絡協議会 (1)

青葉小学校避難所運営協議会 (1)

学習環境のあり方検討協議会 (1)

療育センター陽光園保護者 (1)

公募市民 (3)

ファシリテーター

東京都立大学大学院
都市環境科学研究科 建築学域
助教 讃岐 亮氏

テーブルファシリテーター

東京都立大学 大学院生
相模原市職員

運営事務局

相模原市 経営監理課
こども・若者政策課



東京都立大学のご協力をいただきながら、みなさんのワークをサポートしていきます。

ワークショップの心得と グループワークの流れ

ワークショップの心得

- お互いに出した意見を尊重しましょう。
(批判・中傷はNG)
- 何を言ってもOK。自由に、積極的に参加しましょう。
(自分に対しても批判せず、楽しんでください)
- 質より量。内容を気にせず、できるだけ多くの意見を出してください。
- ワークショップを楽しみましょう！
(出てきた意見を組み合わせ、さらに発展させましょう)



グループワーク

学校での思い出や地域活動を共有して、
地域の魅力・課題を考えよう！

学校での
思い出

地域活動

地域の
魅力

地域の
課題

グループワークの進め方

ワーク 1 学校での思い出や地域活動を共有しよう！

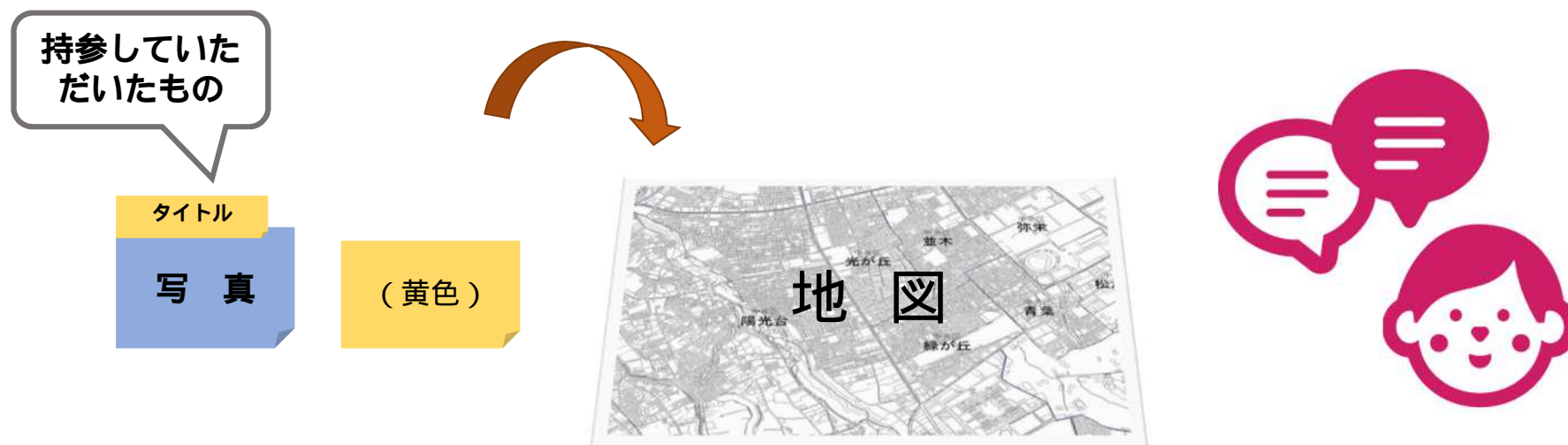
1 . 写真や付せんを使って、「学校での思い出」や「地域活動」などを書き出す。

✓学校での思い出・・・子どものとき、大人になってみたときの思い出（光が丘地区でなくてもOK）

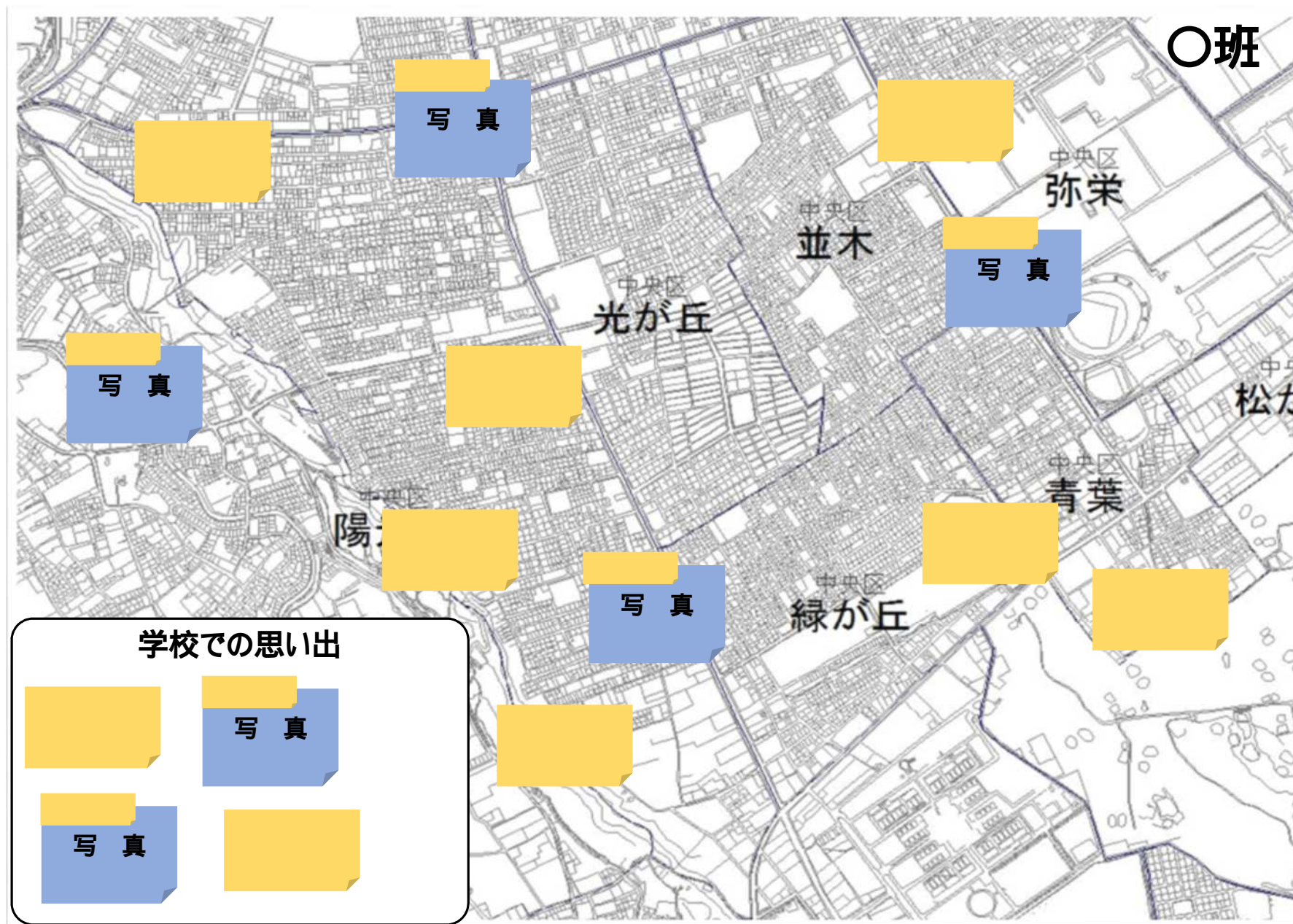
✓地域活動・・・小学校や地区周辺での地域活動（お祭りなどのイベント、お気に入りスポットでもOK）

2 . テーブル上の地図に、写真や付せんなどを貼る。

3 . テーブル内で、1人ずつ順番に自分の意見を発表する。



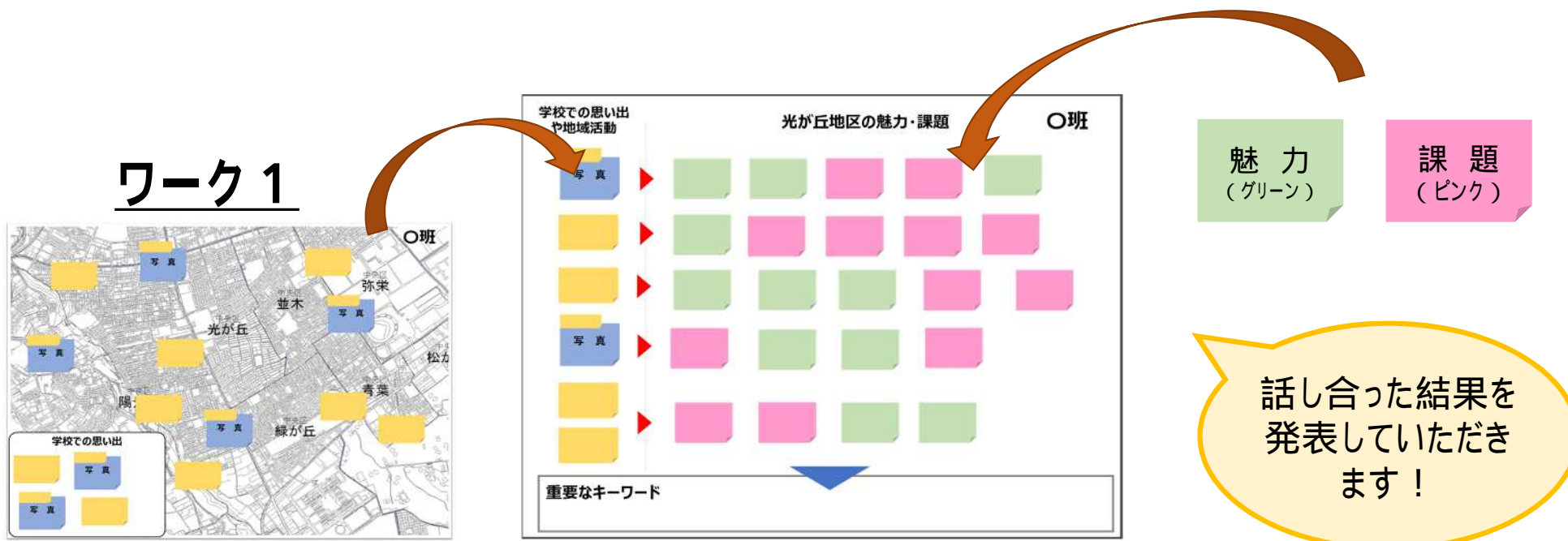
ワーク1 完成イメージ



グループワークの進め方

ワーク2 光が丘地区の魅力や課題を考えよう！

1. ワーク1の意見を踏まえ、付せんに「地区の魅力」や「地区の課題」を書き出す。
2. 模造紙に付せんを貼り付ける。
3. 重要なキーワードをテーブル内で考える。



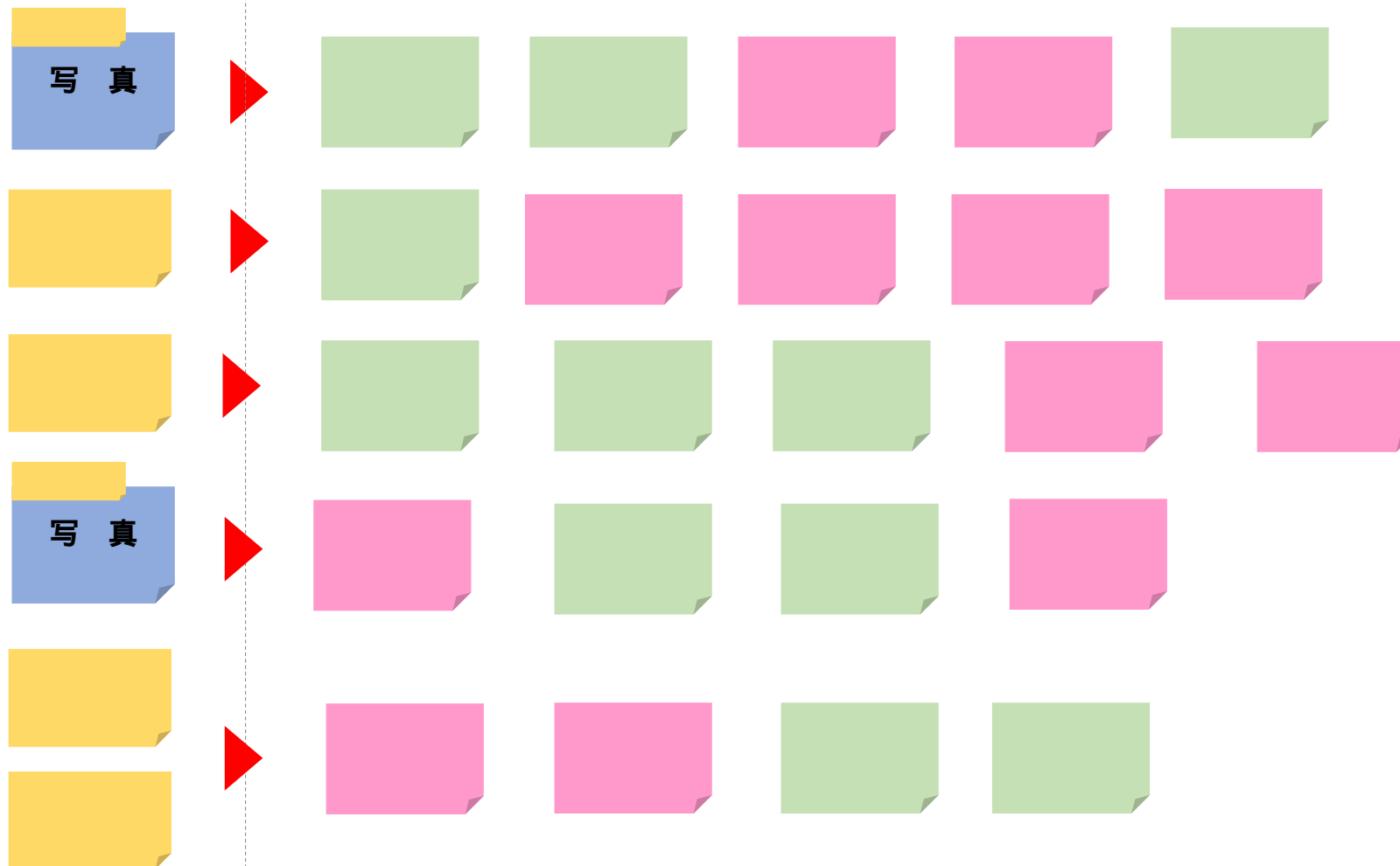
写真や付せんを模造紙に張り替える（事務局）

ワーク2 完成イメージ

学校での思い出
や地域活動

光が丘地区の魅力・課題

○班



重要なキーワード